

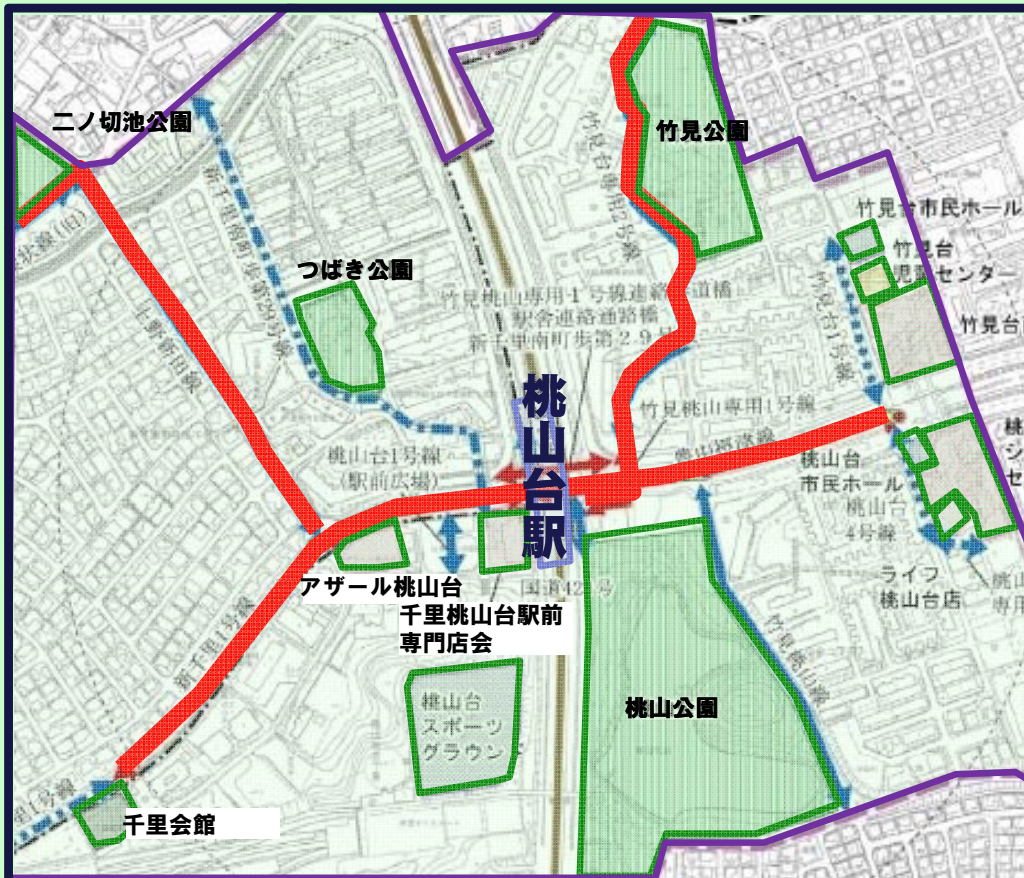
桃山台駅周辺地区バリアフリー基本構想(吹田市・豊中市)

概要 (受理日 平成17年4月5日)

桃山台駅は、丘陵地にある住宅地区内に位置し、吹田市民のみならず、駅が豊中市に隣接することから豊中市民も多く利用する。駅構外からホームまでの経路に多くの段差があり、車いす利用者や高齢者の方にとって使いにくく、両市民から駅舎の早急な改善が望まれてきた。このため、吹田市と豊中市の市境においても連続した移動経路を確保し、切れ目のない一体的なエリアとしてバリアフリー化を進めるため両市が協働で基本構想を策定した。基本構想に基づき、タウンウォッチングを実施する等住民の参加の下、旅客施設周辺の一体的整備、旅客施設周辺の道路における段差や勾配の改善を行った。

重点整備地区の位置及び区域

桃山台駅周辺地区 (面積 94ha)



凡例

重点整備地区 生活関連施設 生活関連経路

特定事業

公共交通特定事業

駅…エレベーター、エスカレーターの設置。駅と公共通路の連続性を保つことに留意し、駅舎出入口のバリアフリー化に努める。視覚障害者誘導用ブロックの設置。車いす利用者、視覚障害者、高齢者等が利用しやすい券売機の設置。緊急時や事故時の際も対応できる案内誘導施設の整備。

車両…文字案内装置等を設置したバリアフリー化車両を導入を検討。

ソフト…職員訓練の実施。

道路特定事業

歩道・道路…歩道の有効幅員の確保、段差・勾配の解消、バリアフリーに対応した路面舗装。照明施設・案内標識の整備、視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良、違法駐車・放置自転車、看板等の不法占用物対策

バス停等…バリアフリー化に配慮したバス停の改良、低床型バスの導入

交通安全特定事業

音響式信号機、感应式信号の設置、生活関連経路上は歩行者用信号灯器の設置。横断歩道の設置

ソフト事業

バリアフリーの教育の実施、バリアフリーマップの作成、広報・啓発の推進等。

基本構想の推進体制

協議会の構成

学識経験者

大阪大学大学院教授・准教授、大阪市立大学大学院教授

市民・当事者団体

自治会連合協議会、高齢クラブ連合会、商工会議所、社会福祉協議会、男女共同参画推進員、吹田市民会議、子育て中又は経験のある公募市民、介護又はボランティア経験のある公募市民

事業者

北大阪急行電鉄(株)、阪急電鉄(株)、JR西日本、阪急バス(株)、大阪高速鉄道(株)

行政

大阪市交通局、大阪府、吹田市、豊中市、国土交通省

スパイラルアップの方法

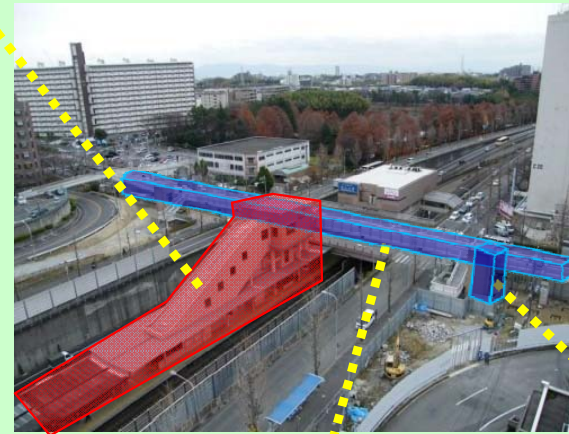
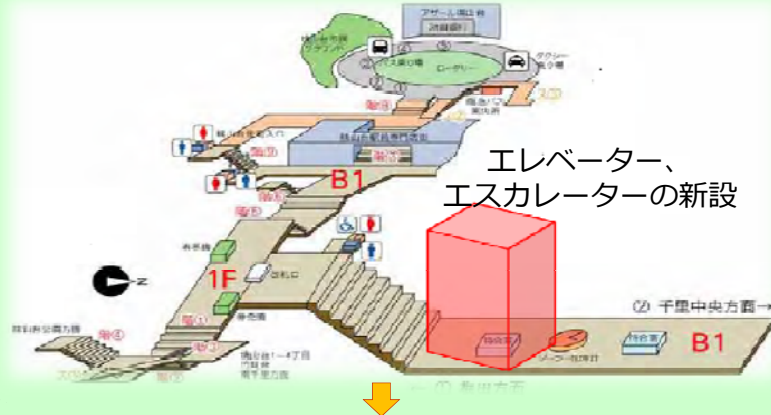
基本構想作成後の事業進捗状況の管理、事業を円滑に進めるとともに、継続的に改善点を事業に盛り込むため、策定に関係した高齢者、障害者、住民、事業者等で「バリアフリー推進協議会」を組織し、スパイラルアップを図っている。また、事業者が設計・工事段階で障害者の意見を聴くことができる「バリアフリーチェックシステム」を導入し、基本構想作成時のタウンウォッチングやワークショップでは発見することができない細かい点についてもフォローアップを行っている。

桃山台駅周辺地区バリアフリー基本構想(吹田市・豊中市)

公共交通特定事業

駅舎を新設し、構内にエレベーターとエスカレーターを設置、構外の連絡通路に接続する形とした。

桃山台駅新駅舎（公共交通特定事業）



連絡通路（道路特定事業）

吹田市側

桃山台駅既存駅舎

交通量が多く、
平面横断が危険

新駅舎予定地

豊中市側

エレベーター（道路特定事業）

道路特定事業

駅舎を新設して構内にエレベーターとエスカレーターを設置、構外においては橋上の新駅舎に接続する連絡通路から地上の歩道へ通じるエレベーターを設置した。さらに、鉄道事業者と吹田市・豊中市が連携しながら、既存の歩道橋を延伸し連絡通路に接続した。国道の平面横断を避け、周辺住宅地から新駅舎までの安全なルートを確認するとともに、利便性の向上につながる立体的なバリアフリー化を実現。



▲住宅地につながる歩道橋

▼車道と歩道の段差、路面舗装の老朽化の解消、十分な幅員の確保等を行った。

